

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学校	教科	種目	学年
103-219	高等学校	外国語科	英語コミュニケーションⅡ	
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
109 文英堂	CⅡ 718	Grove English Communication Ⅱ		

1

編修の基本方針

教育基本法第2条に示された目標を達成するにあたり、以下の点を編修の基本方針とした。

- 男女共通に関係のある話題を選び、また学習者一般の生活環境に合うよう留意した。
- 題材の内容は、異文化、環境問題、社会活動、科学、歴史、物語など、広く各部門におよぶように留意し、広いものの見方・考え方の養成に努めた。
- 内容は、特定の宗教または世界観に偏らないように努め、時代の要請にこたえ、言語や文化に対する関心を高め、国際理解を深めるようにした。
- 明るいユーモアを含む教材を加えて、学習を楽しいものにさせ、英語への関心を高めるようにした。
- 身につけた英語を実践に移すことを視野に、聞く、読む、話す[やりとり]、話す[発表]、書く、の5つの領域の言語活動を有機的に関連づけて指導する場を設けた。
- 英語を通してのコミュニケーション能力を養成するために、随所にリスニングやスピーキングの機会を設けた。

2

対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
LESSON 1 Breakfast Around the World	さまざまな国や地域の典型的な朝食メニューについて読み、幅広い教養を身に付ける場とした(第1号)。	8～12頁 16頁
LESSON 2 What Makes You a Good Street Dancer?	身近なスポーツであるダンスについて読み、豊かな情操を培い、健やかな身体を養うきっかけを持つ場とした(第1号)。	20～24頁 28頁
LESSON 3 Small Actions Can Be Powerful	ボランティアと音楽を結び付ける試みについて読み、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うきっかけを持つ場とした(第3号)。	32～36頁 40頁
LESSON 4 Zoos — Roles and Challenges	動物園の役割や活動について知り、生命を尊び、環境の保全に寄与する態度を養う場とした(第4号)。	44～50頁 54頁

FOR READING 1	小さな行き違いから始まった男性と女性の物語を読み、登場人物のそれぞれの心情を想像し、豊かな情操を培う場とした(第1号)。	59～62頁 64頁
Salty Coffee		
LESSON 5	紙について、その歴史や環境問題との関係など、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養う場とした(第1号)。	68～74頁 78頁
Paper Can Change the Future		
LESSON 6	インターネットとつながるということはどういうことか、未来はどうなっていくのかを考え、真理を求める態度を養う場とした(第1号)。	82～88頁 92頁
Digital Society		
LESSON 7	人とつながることの効果や意味について読み、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養う場とした(第3号)。	96～102頁 106頁
Connecting with People		
LESSON 8	あるパン職人が成し遂げた努力と結果について読み、勤労を重んずる態度を養う場とした(第2号)。	110～116頁 120頁
The Man of Practice		
LESSON 9	身近な昆虫の1種であるミツバチが人間の生活にどのように関係しているのかを読み、自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養う場とした(第4号)。	126～132頁 136頁
The World Without Honeybees		
LESSON 10	スコットランドのフォース橋について知り、他国を尊重し、国際平和の発展に寄与する態度を養う場とした(第5号)。	142～148頁 152頁
The Forth Bridge: An Iconic Landmark in Scotland		
FOR READING 2	家族を思い、思いきった行動に出た少女の姿を通して、正義と責任、男女の平等を重んずる精神を養う場とした(第3号)。	155～163頁
Rickshaw Girl		

3

上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

- 巻を通じて、英語でコミュニケーションをとる際に役立つよう、生徒にわかりやすい平易な英語を心がけた。
- 海外のみならず、日本の伝統文化を尊重し、自国の良さにも目を向けるよう配慮した。
- 英文を系統立てて読む訓練をするために、全5回Check It!のページやReading Skills 1～4を設け、英文を読むためのスキルや、接続詞、前置詞、つづりとアクセントのパターンに関する解説を掲載した。
- 思考力・判断力・表現力を育成するために、巻を通じて2回のCLILページを配した。
- リスニングやスピーキングの際に必要な英語独特の音声変化や表現を確認するために、SOUNDS AND FUNCTIONSを全5回設けた。

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表, 配当授業時数表)

※受理番号	学校	教科	種目	学年
103-219	高等学校	外国語科	英語コミュニケーションⅡ	
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
109 文英堂	CⅡ 718	Grove English Communication Ⅱ		

1

編修上特に意を用いた点や特色

「英語コミュニケーション」という科目名が示すように、コミュニケーションの一つの方法として英語を用いることを目標に以下の点に配慮し、本書の特色とした。

1 言語材料について

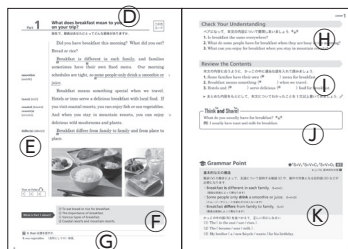
- 言語材料は、広くアメリカで用いられる表現、語法、綴りを中心とした。
- 題材の形式は、説明文、解説文、ネット記事、会話、物語形式などを採用した。
- 言語材料の使用に当たっては、学習指導要領に基づき、基本的な文構造・文法事項を用いた。
- 教材の配列にあたっては、段階的に1課のパート数が増えるように全10課の正課を配したほか、特にリーディングをねらいとする教材を2つ置いた。

2 教科書の構成 (LESSON 1～LESSON 10)

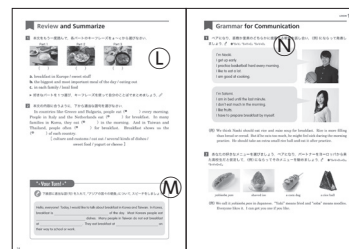
① 導入(見開き)



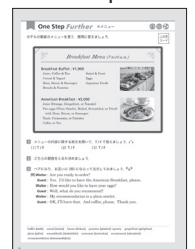
② 本文(見開き)



③ 本文後(見開き)



④ One Step Further



① 導入(見開き)	
① Keywords	リスニングによって本文のキーワードを予習し、本文を読む手助けとした。
② Warm-up	本文に関連する学習者の日常生活に密着する事柄を確認し、ペアでやりとりをすることで、本文への動機付けを行う。
③ Reach Your Goal	単元で学習する事柄を示すことにより、学習の道筋をつけやすくした。

② 本文(見開き)	
④ ガイド文	答えを探しながら本文を読むことで、内容理解の手助けとなる設問を設置した。
⑤ 傍注	新出語と発音を表記したほか、本文の内容理解を問うリスニング問題(True or False)を設けた。
⑥ What is Part 1[2,3,4] about?	各パートの概要を問う問題を設けた。
⑦ 脚注	1段目には代名詞などの内容を問う質問を、2段目には初出の固有名詞、意味のとりにくい表現、慣用表現などを置いた。慣用表現には生徒が意味を調べる際の助けになるよう、辞書で引く単語に下線を付した。
⑧ Check Your Understanding	本文の内容に関するやりとりを英語でするきっかけとなる英問を3問設置した。
⑨ Review the Contents	イラストや表を用いて形式を工夫した本文の内容に関する問題を用意した。
⑩ Think and Share	本文に関連して、意見や考えをほかの人と共有する場を設けた。
⑪ Grammar Point	本文で扱う文構造・文法項目の簡潔な説明と確認問題を置いた。

③ 本文後(見開き)	
㊤ Review and Summarize	課全体の内容を振り返り、まとめた文を完成させる問題を設けた。
㊤ YOUR TURN	課の内容をふまえて発表する場を設けた。
㊤ Grammar for Communication	課で学んだ文法事項を実践的に活用する場を設けた。
④ One Step Further	
	課の内容に関連して読む、聞く、話す[やりとり]、話す[発表]、書くの5領域から複数の活動を統合的に扱う場を設けた。

2

対照表

英語コミュニケーションⅡの「内容」・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

(1) 【知識及び技能】英語の特徴やきまりに関する事項

「英語コミュニケーションⅠ」の2の(1)と同様に取り扱うものとする。ただし、指導する語については、「英語コミュニケーションⅠ」の2の(1)のウの(7)で示す語に700～950語程度の新語を加えた語とする。また、「英語コミュニケーションⅠ」の2の(1)のエの(イ)については、示された文法事項の中から、五つの領域別の目標を達成するのにふさわしいものを取り扱うものとする。

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所
Check It! (Reading Skills) / SOUNDS AND FUNCTIONS 1～5	ア 音声 (7) 語や句、文における強勢 (イ) 文におけるイントネーション (ウ) 文における区切り	17頁, 29頁, 65頁, 107頁, 138頁, 153頁
巻を通じて738語の新語(巻末WORD LIST A, B, C参照)	ウ 語、連語及び慣用表現 (7) 小学校及び中学校で学習した語に400～600語程度の新語を加えた語に700～950語程度の新語を加えた語	193～199頁
巻を通じて連語や慣用表現は各課の脚注に示し、巻末のリストにまとめたうえで例文を付した。	(イ) 連語 (ウ) 慣用表現	全般, 186～192頁
LESSON 1, 4, 5, 6	エ 文構造及び文法事項 小学校学習指導要領第2章第10節の第2の2の(1)のエ、中学校学習指導要領第2章第9節の第2の2の(1)のエ及び次に示す事項については、意味のある文脈でのコミュニケーションの中で繰り返し触れることを通して活用すること。その際、(イ)については、示された文法事項の中から五つの領域別の目標を達成するのにふさわしいものを取り扱うこと。 (7) 文構造のうち、活用頻度の高いもの	9頁, 11頁, 47頁, 71頁, 73頁, 75頁, 83頁, 85頁, 87頁, 89頁
LESSON 3	(イ) 文法事項 a 不定詞の用法	37頁
LESSON 7	b 関係代名詞の用法	99頁, 101頁, 103頁
LESSON 8	c 関係副詞の用法	111頁, 117頁
Check It! (接続詞)	d 接続詞の用法	41頁
LESSON 3, 4	e 助動詞の用法	33頁, 35頁, 49頁
Check It! (前置詞)	f 前置詞の用法	139頁
LESSON 2, 4	g 動詞の時制及び相など	21頁, 23頁, 25頁, 51頁
LESSON 9	h 仮定法	127頁, 129頁, 131頁, 133頁

(2) 【思考力、判断力、表現力等】情報を整理しながら考えなどを形成し、英語で表現したり、伝え合ったりすることに関する事項

「英語コミュニケーションⅠ」の2の(2)に示す事項について、五つの領域別の目標を達成するように取り扱うものとする。

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当 時数
LESSON 1 Breakfast Around the World	- 世界の国々の朝食について読んで理解し、自分自身の経験や考えを表現する。(ア、イ) - 本文の内容をもとに、情報をまとめて伝える。(ウ) - メニューをもとに、自分が注文する朝食について情報を伝え合う。(ウ)	8～13頁 14頁 16頁	9
LESSON 2 What Makes You a Good Street Dancer?	- ストリートダンスの特徴について読んで理解し、自分自身の経験や考えを表現する。(ア、イ) - 本文の内容をもとに、情報をまとめて伝える。(ウ) - eスポーツについて情報をまとめ、自分自身の考えを伝え合う。(ウ)	20～25頁 26頁 28頁	9
LESSON 3 Small Actions Can Be Powerful	- 音楽をきっかけに参加するボランティア活動について読んで理解し、自分自身の考えをまとめる。(ア、イ) - 本文の内容をもとに、情報をまとめて伝える。(ウ) - 要点を明確にしてボランティア活動の応募のメールを書いて伝える。(ウ)	32～37頁 38頁 40頁	9
LESSON 4 Zoos—Roles and Challenges	- 動物園が果たす役割について読んで理解し、情報や自分自身の経験や考えをまとめる。(ア、イ) - 本文の内容をもとに、情報をまとめて伝える。(ウ) - 動物園について情報や考えなどを活用しながら、自分自身の考えを伝え合う。(ウ)	44～51頁 52頁 54～55頁	11
FOR READING 1 Salty Coffee	塩味のコーヒーをきっかけに始まった男性と女性の物語と意外な結末について理解し、登場人物の心情を読みとる。(ア)	58～62頁	5
LESSON 5 Paper Can Change the Future	- 環境負荷を軽減するための紙のあり方について読んで理解し、自分自身の経験や考えを表現する。(ア、イ) - 本文の内容をもとに、情報をまとめて伝える。(ウ) - 和紙づくりについての情報を活用しながら、自分自身の考えを伝え合う。(ウ)	68～75頁 76頁 78頁	11
LESSON 6 Digital Society	- 情報伝達のためのデジタル機器が活用される社会について読んで理解し、自分自身の経験や考えを表現する。(ア、イ) - 本文の内容をもとに、役になりきって情報を伝える。(ウ) - AIが活用される未来の世界についての情報を活用しながら、自分自身の考えを伝え合う。(ウ)	82～89頁 90頁 92頁	11
LESSON 7 Connecting with People	- 人と人がつながり合うことの重要性について読んで理解し、自分自身の経験や考えをまとめて表現する。(ア、イ) - 本文の内容をもとに、役になりきって情報を伝える。(ウ) - 友人どうしのSNS上のやりとりを参考に、メッセージを伝え合う。(ウ)	96～103頁 104頁 106頁	11
LESSON 8 The Man of Practice	- たゆまぬ努力の末に栄冠を勝ち取った日本人パン職人大澤秀一さんについて読んで理解し、自分自身の経験や考えをまとめて表現する。(ア、イ) - 本文の内容をもとに、役になりきって情報を伝える。(ウ) - 伝える内容を整理し、要点や意図を明確にしながら自分自身の経験や考えを伝え合う。(ウ)	110～117頁 118頁 120頁	11
LESSON 9 The World Without Honeybees	- ミツバチの活動や果たす役割について読んで理解し、自分自身の経験や考えをまとめて表現する。(ア、イ) - 本文の内容をもとに、情報をまとめて伝える。(ウ)	126～133頁 136～137頁	11
LESSON 10 The Forth Bridge: An Iconic Landmark in Scotland	- スコットランドの象徴のひとつフォース橋の歴史について読んで理解し、自分自身の経験や考えをまとめて表現する。(ア、イ) - 本文の内容をもとに、情報をまとめて伝える。(ウ) - 時刻表と路線図の情報をもとに、自分たちの計画について伝え合う。(ウ)	142～149頁 150頁 152頁	11

FOR READING 2	・お父さんを助けようと、計画を立てた少女が行動を起こし、失敗しながらも家族の大切さを知る物語の要点をとらえ、登場人物それぞれの心情を読みとる。 (ア)	155～163 頁	8
Rickshaw Girls by Mitali Perkins			
		計	117

(3) 言語活動及び言語の働きに関する事項

① 言語活動に関する事項

(2)に示す事項については、(1)に示す事項を活用して、例えば、次のような五つの領域別の言語活動及び複数の領域を結び付けた統合的な言語活動を通して指導する。

図構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所
巻を通して中学校における学習内容を用いた活動を設けた。	ア 中学校学習指導要領第2章第9節の第2の2の(3)の①に示す言語活動のうち、中学校における学習内容の定着を図るために必要なもの。	全般
巻を通して聞く活動を設け、  マークを付した。また、特に意識して他の言語活動領域と結び付けた統合的な活動を設けた。	イ 聞くこと	全般
巻を通して読む活動を設け、  マークを付した。また、特に意識して他の言語活動領域と結び付けた統合的な活動を設けた。	ウ 読むこと	全般
巻を通して話す[やりとり]活動を設け、  マークを付した。また、特に意識して他の言語活動領域と結び付けた統合的な活動を設けた。	エ 話すこと[やり取り]	全般
巻を通して話す[発表]活動を設け、  マークを付した。また、特に意識して他の言語活動領域と結び付けた統合的な活動を設けた。	オ 話すこと[発表]	全般
巻を通して書く活動を設け、  マークを付した。また、特に意識して他の言語活動領域と結び付けた統合的な活動を設けた。	カ 書くこと	全般

② 言語の働きに関する事項

言語活動を行うに当たり、例えば、次に示すような言語の使用場面や言語の働きの中から、五つの領域別の目標を達成するためにふさわしいものを取り上げ、有機的に組み合わせて活用するようにする。

ア 言語の使用場面の例

- (ア) 生徒の暮らしに関わる場面 (イ) 多様な手段を通して情報などを得る場面
(ウ) 特有の表現がよく使われる場面

イ 言語の働きの例

- (ア) コミュニケーションを円滑にする (イ) 気持ちを伝える (ウ) 事実・情報を伝える
(エ) 考えや意図を伝える (オ) 相手の行動を促す

図書の構成・内容	学習指導要領の内容		該当箇所
	言語の使用場面	言語の働き	
LESSON 1 YOUR TURN Grammar for Communication (以下GC) ①	(ア)スピーチ	(ウ)説明する	14頁
GC ②	(ウ)食事	(ウ)理由を述べる, (エ)提案する	15頁
One Step Further	(ウ)食事	(ウ)説明する, (エ)提案する	16頁
LESSON 2 YOUR TURN GC ①	(ウ)学校での活動	(ウ)説明する	26頁
GC ②	(ア)地域	(ウ)説明する, 描写する	27頁
One Step Further	(ウ)学校での活動	(イ)共感する／褒める, (ウ)説明する, (エ)賛成・反対する	28頁
	(イ)学校での活動	(ウ)説明する, (エ)主張する	
LESSON 3 YOUR TURN GC ①	(ア)地域での活動	(オ)質問する, 誘う, 注意をひく	38頁
GC ②	(ア)学校など	(ア)相づちを打つ, (エ)推論する, (オ)質問する	39頁
One Step Further	(ア)家庭での生活	(ウ)理由を述べる, (オ)質問する	
	(イ)ウェブサイト	(エ)申し出る	40頁

LESSON 4 YOUR TURN GC 1 2 One Step Further	(ア)スピーチ (ア)地域 (イ)新聞 (イ)記事	(ウ)説明する, (オ)注意をひく (ウ)説明する／描写する, (エ)推論する, (オ)注意をひく (ウ)説明する, (オ)質問する (ウ)説明する／理由を説明する	52 頁 53 頁 54 頁
FOR READING 1 One Step Further	(ウ)手紙	(ウ)説明する	64 頁
LESSON 5 YOUR TURN GC 1 2 One Step Further	(ア)地域での活動 (イ)グラフ (ア)学校 (ウ)パンフレット	(ウ)説明する (ウ)説明する／報告する (イ)共感する, (エ)提案する (ウ)説明する／要約する	76 頁 77 頁 78 頁
LESSON 6 YOUR TURN GC 1 2 One Step Further	(ア)インタビュー (ア)学校 (ア)学校 (イ)記事	(ウ)説明する, (エ)主張する (イ)希望を伝える, (ウ)理由を述べる, (オ)質問する (イ)共感する, (エ)推論する, (オ)質問する (ウ)要約する, (エ)推論する	90 頁 91 頁 92 頁
LESSON 7 YOUR TURN GC 1 2 One Step Further	(ア)レポート (ウ)買物 (ア)学校 (イ)SNS	(ウ)説明する／描写する (ウ)説明する, (エ)提案する, (オ)質問する (ア)相づちを打つ, (イ)共感する, (ウ)説明する, (オ)質問する (イ)共感する, (エ)推論する	104 頁 105 頁 106 頁
LESSON 8 YOUR TURN GC 1 2 One Step Further	(ア)レポート (イ)昔話 (ア)学校 (イ)感想文	(イ)感動を伝える, (ウ)説明する／報告する／描写する (ウ)説明する／描写する (ウ)説明する／報告する (ア)繰り返す, (イ)共感する, (オ)質問する	118 頁 119 頁 120 頁
LESSON 9 YOUR TURN GC 1 2 One Step Further	(ア)学校 (イ)画像 (ア)家庭での生活 (ア)調べ学習	(ア)話題を発展させる, (ウ)説明する (ウ)説明する／描写する, (エ)仮定する (ウ)説明する, (エ)提案する／仮定する, (オ)質問する (ウ)報告する, 要約する, (オ)注意をひく	134 頁 135 頁 136～137 頁
LESSON 10 YOUR TURN GC 1 2 One Step Further	(イ)SNS (ア)学校など (ウ)買物 (イ)時刻表／路線図	(イ)驚きを伝える, (ウ)説明する／報告する (イ)共感する, (ウ)理由を述べる, (エ)反対する (ア)相づちを打つ, (イ)共感する, (エ)提案する／推論する, (オ)質問する (ウ)報告する, 要約する	150 頁 151 頁 152 頁
SOUNDS AND FUNCTIONS 1～5	(ウ)旅行 (ア)図書館 (ア)友人との活動	(ア)相づちを打つ, (ウ)説明する／理由を述べる, (エ)承諾する, (オ)質問する／依頼する (ア)相づちを打つ, (イ)感謝する, (ウ)説明する, (エ)提案する, (オ)質問する／依頼する (ア)相づちを打つ, (イ)驚く, (ウ)説明する, 理由を述べる, (エ)誘う, (オ)質問する／注意をひく	29 頁, 65 頁 107 頁 138 頁, 153 頁
HOW DO YOU SAY IT IN ENGLISH?	(ア)学校	(ア)聞き直す／話題を発展させる／話題を変える, (ウ)理由を述べる／要約する, (エ)提案する／賛成する／反対する／, (オ)質問する, 依頼する	後見返し

英語コミュニケーションⅡの「内容の取扱い」・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所
全体を通して、五つの領域の言語活動を複数結び付けた統合的な言語活動を意識して扱った。	コミュニケーションを図る資質・能力を育成するためのこれまでの総合的な指導を踏まえ、五つの領域別の言語活動及び複数の領域を結び付けた統合的な言語活動を通して、総合的に指導するものとする。	全般